



# IM and Presence Service 向けの Cisco Unified Communications Manager の設定

- 統合の概要 (1 ページ)
- Cisco Unified Communications Manager 統合の前提条件 (1 ページ)
- Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク設定 (3 ページ)

## 統合の概要

このセクションでは、IM and Presence Service の設定を完了するために、Cisco Unified Communications Manager で完遂すべきタスクの詳細を説明します。

## Cisco Unified Communications Manager 統合の前提条件

Cisco Unified Communications Manager に IM and Presence Service を統合する設定の前に、Cisco Unified Communications Manager で以下の全般的な設定タスクが完了していることを確認します。Cisco Unified Communications Manager の設定方法の詳細は、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html> の *Cisco Unified Communications Manager* システム設定ガイドを参照してください。

以下の表は、IM and Presence Service の統合に関する重要な設定タスクの一覧です。フィールドその他のオプションの説明については、オンラインヘルプを参照してください。

表 1: Cisco Unified Communications Manager で必要な設定

タスク	説明
ユーザ クレデンシャル ポリシーの修正	<p>ユーザのクレデンシャル ポリシーの有効期限を設定することを推奨します。クレデンシャル ポリシーの有効期限を必要としない唯一のユーザ タイプは、アプリケーション ユーザです。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager のユーザを認証するために LDAP サーバを使用している場合はクレデンシャル ポリシーを使用しません。</p> <p><b>Cisco Unified CM Administration</b> で、&gt;[ユーザの管理 (User Management)]&gt;[ユーザ設定 (User Settings)]&gt;[クレデンシャル ポリシー デフォルト (Credential Policy Default)] を選択します。</p>
電話機を設定し、各電話機に電話番号 (DN) を関連付ける	<p>クライアントと電話の相互運用のために、<b>CTIからのデバイスの制御を許可</b> を有効にします。</p> <p><b>Cisco Unified CM 管理 &gt; デバイス &gt; 電話</b></p>
ユーザを設定し、各ユーザにデバイスを関連付ける	<p>ユーザ ID 値が各ユーザで一意になっていることを確認します。</p> <p><b>Cisco Unified CM 管理 &gt; ユーザ管理 &gt; エンド ユーザ</b></p>
ユーザをライン アピアランスに関連付ける	<p>詳細については、次の項を参照してください。</p> <p><b>Cisco Unified CM 管理 &gt; デバイス &gt; 電話</b></p>
CTI 対応ユーザ グループにユーザを追加する	<p>デスクフォン制御を有効にするには、CTI 対応ユーザ グループにユーザを追加する必要があります。</p> <p><b>Cisco Unified CM 管理 &gt; ユーザ管理 &gt; ユーザ グループ</b></p>
証明書の交換	<p>Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間の証明書交換は、インストールプロセス中に自動的に処理されます。ただし、問題が発生し、証明書交換を手動で完了しなければならない場合は、<a href="#">Cisco Unified Communications Manager との証明書交換</a>を参照してください。</p>



- (注) IM and プレゼンスサービスにアップロードする Cisco Unified Communications Manager tomcat の証明書に SAN フィールドのホスト名が含まれている場合は、それらすべてが IM and プレゼンスサービスから解決可能である必要があります。IM and プレゼンスサービスは、DNS を介してホスト名を解決できる必要があります。または、Cisco Sync Agent サービスが開始されません。これは、Cisco Unified Communications Manager サーバのノード名にホスト名、IP アドレス、または FQDN を使用するかどうかにかかわらず当てはまります。

## Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク設定

Cisco Unified Communications Manager への SIP トランク接続を設定するには、これらのタスクを完了します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">SIP トランク セキュリティプロファイルの設定 (4 ページ)</a>	Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間のトランク接続用の SIP トランク セキュリティプロファイルを設定します。
ステップ 2	<a href="#">IM and Presence Service の SIP トランク セキュリティプロファイルの設定 (5 ページ)</a>	SIP トランク セキュリティプロファイルを SIP トランクに割り当て、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間のトランクの間の接続を設定します。
ステップ 3	<a href="#">SRV クラスタ名の設定 (6 ページ)</a>	オプション。Cisco Unified Communications と IM and Presence Service 間で SIP トランクを使用しており、IM and Presence のデフォルトドメイン以外の SRV アドレスを使用している場合のみ、この手順を実行します。この場合、 <b>SRV クラスタ名サービスパラメータ</b> を設定します。そうしない場合は、このタスクをスキップします。
ステップ 4	<a href="#">プレゼンス ゲートウェイの設定 (7 ページ)</a>	IM and Presence Service で、Cisco Unified Communications Manager をプレゼンスゲートウェイとして割り当て、システムがプレゼンス情報を交換できるようにします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	<a href="#">SIP パブリッシュ トランクの設定 (6 ページ)</a>	オプション。IM and Presence の SIP PUBLISH トランクを設定するには、以下の手順を使用します。この設定をオンにすると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence Service のライセンスが供与されたユーザに関連付けられたすべてのライン アピアランスの電話の利用状況をパブリッシュします。
ステップ 6	<a href="#">Cisco Unified Communications Manager のサービスの確認 (7 ページ)</a>	必要なサービスが Cisco Unified Communications Manager で実行されていることを確認します。
ステップ 7	<a href="#">クラスタ外の Cisco Unified Communications Manager の電話でのプレゼンス表示の設定 (8 ページ)</a>	IM and Presence Service の TLS ピア サブジェクトとして、Cisco Unified Communications Manager を設定します。IM and Presence Service クラスタ外の Cisco Unified Communications Manager からの通話のプレゼンスを許可する場合には、TLSが必要となります。

## SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager で、IM and Presence Service のトランク接続用の SIP トランク セキュリティ プロファイルを設定します。

### 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM 管理 > システム > セキュリティ > SIP トランク セキュリティ プロファイル で、検索をクリックします。
- ステップ 2 [Non Secure SIP Trunk Profile (非セキュアな SIP トランク プロファイル)] をクリックします。
- ステップ 3 [Copy] をクリックします。
- ステップ 4 プロファイルの名前を入力します。たとえば、IMP-SIP-Trunk-Profileとなります。
- ステップ 5 以下の設定を完遂します。
  - デバイス セキュリティ モードは 非セキュア に設定されています。
  - 着信転送タイプは TCP+UDP に設定されています。
  - 発信転送タイプは TCP に設定されています。

ステップ6 次のチェック ボックスをオンにします。

- プレゼンスのSUBSCRIBEの許可
- Out-of-Dialog REFER の許可 (Accept Out-of-Dialog REFER)
- Unsolicited NOTIFYの許可
- [Replacesヘッダーの許可 (Accept replaces header)]

ステップ7 [保存 (Save)] をクリックします。

---

次のタスク

[IM and Presence Service の SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 \(5 ページ\)](#)

## IM and Presence Service の SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence クラスタの間の SIP トランク接続を設定します。

始める前に

[SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 \(4 ページ\)](#)

手順

---

ステップ1 Cisco Unified CM 管理から **デバイス > トランク** を選択します。

ステップ2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。

ステップ3 [トランク タイプ (Trunk Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、[SIP トランク (SIP Trunk)] を選択します。

ステップ4 **デバイス プロトコル** ドロップダウン リスト ボックスから、**SIP** を選択します。

ステップ5 **トランク サービス タイプ** ドロップダウン リスト ボックスから、**なし** を選択します。

ステップ6 [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ7 **デバイス名** フィールドに、デバイス名を入力します。たとえば、IMP-SIP-Trunkとなります。

ステップ8 ドロップダウン リスト ボックスから **デバイス プール** を選択します。

ステップ9 **SIP 情報** セクションで、IM and Presence クラスタのアドレス情報を入力して、トランクを IM and Presence Service に割り当てます。

- IM and Presence Service に DNS SRV レコードを使用している場合は、**接続先アドレス**は **SRV** チェック ボックスをオンにして、**接続先アドレス** フィールドに SRV を入力します。
- それ以外の場合は、[宛先アドレス (Destination Address)] フィールドに、IM and Presence パブリッシュャノードの IP アドレスまたは FQDN を入力します。(+) ボタンをクリックして、その他のノードを追加します。最大 16 ノードを入力することができます。

- ステップ 10 接続先ポートは、5060と入力します。
- ステップ 11 SIP トランク セキュリティ プロファイル ドロップダウンリストボックスで、前のタスクで作成した SIP トランク セキュリティ プロファイルを選択します。
- ステップ 12 SIP プロファイル ドロップダウンリストボックスから、プロファイルを選択します。たとえば、標準 SIP プロファイルとなります。
- ステップ 13 [保存 (Save) ] をクリックします。

---

#### 次のタスク

Cisco Unified Communications と IM and Presence Service 間で SIP トランクを使用しており、IM and Presence のデフォルト ドメイン以外の SRV アドレスを使用している場合、[SRV クラスタ名の設定 \(6 ページ\)](#)。

それ以外の場合は、[SIP パブリッシュ トランクの設定 \(6 ページ\)](#)。

## SRV クラスタ名の設定

Cisco Unified Communications と IM and Presence Service 間で SIP トランクを使用しており、IM and Presence のデフォルト ドメイン以外の SRV アドレスを使用している場合、**SRV クラスタ名** サービス パラメータを設定します。その他の場合は、このタスクをスキップします。

#### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence 管理で、システム > サービス パラメータ を選択します。
  - ステップ 2 サーバ ドロップダウンリストボックスから IM and Presence パブリッシュ ノードを選択し、移動をクリックします。
  - ステップ 3 サービス ドロップダウンで、Cisco SIP プロキシ サービスを選択します。
  - ステップ 4 SRV クラスタ名 フィールドに、SRV アドレスを入力します。
  - ステップ 5 [保存 (Save) ] をクリックします。

## SIP パブリッシュ トランクの設定

このオプション手順を使用して、IM and Presence用の SIP パブリッシュ トランクを設定します。この設定をオンにすると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence Service のライセンスが供与されたユーザに関連付けられたすべてのライン アピアランスの電話の利用状況をパブリッシュします。

#### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence 管理で、プレゼンス > 設定 > 標準設定を選択します。

**ステップ 2** **CUCM IM and Presence** パブリッシュ トランク ドロップダウンから、Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence Service 用に設定した SIP トランクを選択します。

**ステップ 3** [保存 (Save) ] をクリックします。

(注) この新しい設定を保存すると、Cisco Unified Communications Manager の **IM and Presence** パブリッシュ トランク サービス パラメータにも新しい設定が反映されます。

---

次のタスク

[Cisco Unified Communications Manager のサービスの確認 \(7 ページ\)](#)

## プレゼンス ゲートウェイの設定

IM and Presence Service でこの手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager をプレゼンス ゲートウェイとして割り当てます。この設定で、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service 間のプレゼンス情報交換が有効になります。

手順

---

**ステップ 1** **Cisco Unified CM IM and Presence** 管理 > プレゼンス > ゲートウェイを選択します。

**ステップ 2** [新規追加 (Add New) ] をクリックします。

**ステップ 3** プレゼンス ゲートウェイ ドロップダウンリスト ボックスで、**CUCM**を選択します。

**ステップ 4** [説明 (Description) ] を入力します。

**ステップ 5** プレゼンスゲートウェイタイプフィールドから、以下のオプションのいずれかを選択します。

- Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードの IP アドレスあるいは FQDN を提供します。
- Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ ノードに解決される DNS SRV

**ステップ 6** [保存 (Save) ] をクリックします。

---

次のタスク

[SIP パブリッシュ トランクの設定 \(6 ページ\)](#)

## Cisco Unified Communications Manager のサービスの確認

この手順を使用して、必要なサービスが Cisco Unified Communications Manager ノードで実行されていることを確認します。

## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Serviceability から、[ツール (Tools)] > [コントロール センター - 機能サービス (Control Center - Feature Services)] の順に選択します。
- ステップ 2** サーバメニューから、Cisco Unified Communications Manager クラスタ ノードを選択して、移動をクリックします。
- ステップ 3** 以下のサービスが実行されていることを確認します。実行されていない場合は、起動させます。
- Cisco CallManager
  - Cisco TFTP
  - Cisco CTIManager
  - Cisco AXL Web Service (IM and Presence と Cisco Unified Communications Manager 間のデータ同期用)
- ステップ 4** 上記のサービスのいずれかが実行されていない場合は、サービスを選択して、開始をクリックします。
- 

## クラスタ外の Cisco Unified Communications Manager の電話でのプレゼンス表示の設定

IM and Presence Service クラスタ外にある Cisco Unified Communications Manager から電話利用状況を許可できます。ただし、IM and Presence Service がクラスタ外の Cisco Unified Communications Manager から SIP PUBLISH を受け入れるようにするには、Cisco Unified Communications Manager は、IM and Presence Service の TLS 信頼ピアとしてリストする必要があります。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">Cisco Unified Communications Manager の TLS ピアとしての追加 (8 ページ)</a>	IM and Presence Service の TLS ピアとして、Cisco Unified Communications Manager を追加します。
ステップ 2	<a href="#">Unified Communications Manager の TLS コンテキストの設定 (9 ページ)</a>	Cisco Unified Communications Manager TLS ピアの追加

### Cisco Unified Communications Manager の TLS ピアとしての追加

IM and Presence Service がクラスタ外の Cisco Unified Communications Manager から SIP PUBLISH を受け入れるようにするには、Cisco Unified Communications Manager は、IM and Presence Service の TLS 信頼ピアとしてリストする必要があります。



## 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence 管理 > システム > セキュリティ > TLS ピア サブジェクトで、**新規追加**をクリックします。
- ステップ 2 ピア サブジェクト名 フィールドに、外部 Cisco Unified Communications Manager の IP アドレスを入力します。
- ステップ 3 [説明 (Description)] フィールドにノードの名前を入力します。
- ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

## 次のタスク

[TLS コンテキストの設定](#)

## Unified Communications Manager の TLS コンテキストの設定

次の手順を使用して、選択した TLS ピアに、前のタスクで設定した Cisco Unified Communications Manager TLS ピアを追加します。

## 始める前に

[Cisco Unified Communications Manager の TLS ピアとしての追加 \(8 ページ\)](#)

## 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence 管理 > システム > セキュリティ > TLS コンテキスト設定で、**検索**をクリックします。
- ステップ 2 [Default\_Cisco\_UP\_SIP\_Proxy\_Peer\_Auth\_TLS\_Context] をクリックします。
- ステップ 3 使用可能な TLS ピア サブジェクトのリストから、Cisco Unified Communications Manager 用に設定した TLS ピア サブジェクトを選択します。
- ステップ 4 この TLS ピア サブジェクトを [Selected TLS Peer Subjects] に移動します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6 すべてのクラスタ ノードで Cisco OAMAgent を再起動します。
  - a) [Cisco Unified IM and Presence のサービスアビリティ (Cisco Unified IM and Presence Serviceability)] から、[ツール (Tools)] > [コントロールセンタ-ネットワークサービス (Control Center - Network Services)] を選択します。
  - b) サーバ ドロップダウン リスト ボックスから、IM and Presence サーバを選択して、**移動**をクリックします
  - c) **IM and Presence Services** の下の **Cisco OAMAgent** を選択して、**再起動**をクリックします。
  - d) すべてのクラスタ ノードでサービスを再起動します。
- ステップ 7 OAM エージェントの再起動後に、Cisco Presence エンジン を再起動します。
  - a) [Tools] > [Control Center - Feature Services] を選択します。

- b) サーバ ドロップダウン リスト ボックスから、IM and Presence ノードを選択して、**移動** をクリックします
  - c) [IM and Presence サービス (IM and Presence Services) ] で、[Cisco Presence Engine] を選択して、[再起動 (Restart) ] をクリックします。
  - d) すべてのクラスタ ノードでサービスを再起動します。
- 

#### 次のタスク

[Cisco Unified Communications Manager のサービスの確認 \(7 ページ\)](#)

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。